

第27期決算報告書

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー

貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	16	買掛金	6,128
売掛金	2,473	未払金	17,998
未収入金	567	未払費用	8,031
貯蔵品	50	未払法人税等	838
前渡金	490	契約負債	2,160
前払費用	1,725	リース債務	1,823
預け金	60,885	その他の流動負債	705
その他の流動資産	75	流動負債合計	37,684
貸倒引当金	△15	固定負債	
流動資産合計	66,267	退職給付引当金	33,342
固定資産		リース債務	4,128
有形固定資産		その他の固定負債	0
建物	1,086	固定負債合計	37,470
構築物	1,745		
機械及び装置	161	負債合計	75,153
車両運搬具	48	(純資産の部)	
工具、器具及び備品	3,158	株主資本	
土地	658	資本金	100
建設仮勘定	764	資本剰余金	
リース資産	5,183	その他資本剰余金	4,815
有形固定資産合計	12,803	資本剰余金合計	4,815
無形固定資産			
のれん	1,051	利益剰余金	
ソフトウェア	631	利益準備金	25
ソフトウェア仮勘定	418	その他利益剰余金	15,350
リース資産	97	繰越利益剰余金	15,350
その他の無形固定資産	110	利益剰余金合計	15,375
無形固定資産合計	2,308	株主資本合計	20,290
投資その他の資産			
投資有価証券	0		
関係会社株式	0		
前払年金費用	154		
繰延税金資産	13,242		
その他の投資等	722		
貸倒引当金	△53		
投資その他の資産合計	14,065		
固定資産合計	29,176	純資産合計	20,290
資産合計	95,443	負債・純資産合計	95,443

(注)記載金額は百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

損 益 計 算 書

(2025年 4月 1日から
2026年 3月 31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		184,171
売 上 原 価		173,798
売 上 総 利 益		10,373
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		7,091
営 業 利 益		3,282
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	126	
そ の 他 営 業 外 収 益	704	830
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	116	
そ の 他 営 業 外 費 用	128	243
経 常 利 益		3,869
税 引 前 当 期 純 利 益		3,869
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,574	
法 人 税 等 調 整 額	73	1,647
当 期 純 利 益		2,222

(注)記載金額は百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

個別注記表

〔 2025年4月 1日から
2026年3月31日まで 〕

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関連会社株式	総平均法による原価法
その他の有価証券	
市場価格のない株式等	総平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

未成工事支出金	個別法による原価法
貯蔵品	
工事材料品	総平均法による原価法
その他の貯蔵品	最終仕入原価法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価の切り下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
建物 1～22年 構築物 1～78年 機械および装置 2～23年
車両運搬具工具 1～10年 器具および備品 1～26年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法
ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年以内)に基づく定額法を採用しております。

(3) のれん

のれんの償却については、効果の発現する期間を合理的に見積り当該期間にわたり均等償却しております。

(4) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額は実質残存価額とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については債権の回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法として、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間に基づく年数による定額法により、翌期より費用処理しております。
過去勤務費用については、発生時の従業員の平均残存勤務期間に基づく年数による定額法により、発生時より費用処理しております。

4. 収益及び費用の計上基準

約束した財又はサービスはその支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識しております。

主要な事業における主な履行義務の内容および収益を認識する通常の時点については、「収益認識に関する注記」に記載のとおりです。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

貸借対照表に関する注記

1.有形固定資産の減価償却累計額	13,391 百万円
2.補助金の受入れによる有形固定資産の取得価額の圧縮記帳額	127 百万円
3.関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	60,921 百万円
短期金銭債務	1,476 百万円

税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

退職給付引当金	10,509 百万円
未払従業員賞与	2,194 百万円
その他	2,273 百万円

繰延税金資産小計	14,975 百万円
評価性引当額	△1,048 百万円
繰延税金資産合計	13,927 百万円

繰延税金負債

退職給与負債調整勘定等	△685 百万円
-------------	----------

繰延税金負債小計	△685 百万円
繰延税金資産(負債)の純額	13,242 百万円

2. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社

(単位:百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	NTT東日本(株)	被所有 直接 100%	業務委託(通信設備の修理保守)	通信回線・設備の保守等の提供(注1)	167,396	売掛金	23
				通信用専用回線賃借(注2)	162	買掛金	38
				余剰資金の預け入れ(注3)	60,507	預け金	60,885
				利息の受入(注4)	126		-
	NTT(株)	被所有 間接 100%	持株会社	グループ通算に伴う未払金	-	未払金	214

上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 市場価格、総原価を勘案して、毎期価格交渉等により契約金額の決定を行っております。

(注2) 専用サービス契約約款等により一般市場と同様の取引条件となっております。

(注3) 取引金額には、事業年度中のキャッシュ・マネジメント・システムによる平均残高を記載しております。

(注4) 市場金利を考慮して利率を合理的に決定しております。

2. 兄弟会社等

(単位:百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社の子会社	NTTドコモビジネス㈱	なし	業務委託(IPサービス業務)	通信回線・設備の保守等の提供(注)	588	売掛金	13
	NTTファイナンス㈱	なし	NTTグループ会社間取引の資金決済	NTTグループ会社間取引の資金決済	255,498	未払金	10,350

上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 市場価格、総原価を勘案して、毎期価格交渉等により契約金額の決定を行っております。

1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額	115,448円	30銭
1株当たりの当期純利益	12,643円	34銭

収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

当社は主に電気通信及び情報通信等に関する事業を業務として 電話網・県間通信ネットワークを含めたIP網の構築・維持・運用等の業務を、ビジネスサポートサービスとして主にインターネット接続サービスやSI/MIソリューションを提供しております。

(1) IP網の構築・維持・運用等

NTT東日本株式会社へ業務等を提供しており、これらの提供に従い収益を認識しております。

(2) インターネット接続サービス

一般消費者並びに、法人事業者向けにWAKWAKサービス等を主に提供しており、これらの提供に従い収益を認識しております。

(3) SI/MIソリューション

システム開発等の受託サービスを法人事業者向けに提供しており金額的重要性が乏しい工事を除き、工事の進捗に従って顧客に成果が移転するため、工事期間にわたって収益を認識しております。

保守サービスに係る収益は、主に法人事業者向けの保守契約であり、一定の期間にわたり履行義務を充足する取引であることから履行義務の充足の進捗度に応じて、収益を認識しております。